

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 **新** 一人一台端末活用教員研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育研修課 研修企画係 電話番号：058-271-3450

研修第一係 058-271-3326

研修第二係 058-272-3456

E-mail：[c17781@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17781@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 2,013千円（前年度予算額：0千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,013	0	0	0	0	0	0	0	2,013
決定額	2,013	0	0	0	0	0	0	0	2,013

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・コロナ禍もありGIGAスクール構想の実現が加速し、児童生徒一人に一台の端末の整備が進められている。
- ・ICTを活用した学習の充実が急務として求められている。また、このICTを活用した学習を充実することと同時に誰一人取り残すことなく、全ての児童生徒の学びを保障することが求められている。
- ・このため、ICTを活用しながら、児童生徒の個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための教員研修が必要である。

### (2) 事業内容

児童生徒一人一台の端末の整備に伴い、ICTを活用した児童生徒の学びの保障の実現に向けた教員研修を実施する。

- ・「ファシリテーション・コーチング・メンタリング」講座  
～ICTを活用しながら、児童生徒を支え導くために～
- ・「問題解決型学習の技法」講座  
～ICTを活用して、生徒の深い学びを進めるために～
- ・「個別最適化された学びの技法」講座  
～ICTを活用して、個に応じた学習を提供するために～

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 (10/10) (県主催の研修事業のため)

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,750	外部講師報償費
旅費	263	外部講師費用弁償
合計	2,013	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン  
基本方針4 勤務環境の改革と教職員の資質向上  
目標24 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 教育公務員特例法第21条により、教育公務員はその職責を遂行するために絶えず研究と修養に努めること、また任命権者は教育公務員の研修について、それに要する施設、研修を奨励するための方途その他研修に関する計画を樹立し、その実施に努めることが定められている。

# 事業評価調査書（県単独補助金を除く）

- |  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業            |

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 一人一台端末を活用し、児童生徒の個別最適な学びと、協働的な学びを実現するために、ファシリテーション・コーチング・メンタリング等、喫緊の課題にかかわる研修等を実施して、教員の資質向上を目指します。教員の資質を向上させることで、全ての児童生徒に学びを保障する教育環境の充実を図ります。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
受講者数	人 ( )	人 ( )	人 ( )	人 ( )	6,000人 (R3)	%
	( )	( )	( )	( )	( )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	コロナ禍の中で、研修に対する学校、教員及び社会のニーズが高い。 ○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> <li>・一人一台端末を活用した活動実践の充実</li> <li>・一人一台端末活用実践を進める中で必要なファシリテーション・コーチング・メンタリング等の資質・能力の向上を図る研修の策定</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> <li>・県民や学校ニーズ、今後の課題を踏まえて研修内容を吟味するとともに、WEB会議システムを効果的に活用し、研修しやすい環境を整える。</li> <li>・教員の資質向上に関する指標をもとに、キャリアステージにおいて必要な資質・能力の向上を図るための内容を吟味し研修を構築する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】